

ヴェネツィアにおける海外小麦の輸入取引

—1539, 40年— (6)

齊藤寛海

(本誌第72号からの続き)

[C・11] 1539・2・9, ペラ, グッリエルモ・ダ・ソマイア

(270r) 小麦の件でこのシニョリーアと取引した経過をご承知のことと思います。先ず、スタジオあたり21リラで最初の取り決めをおこない、次いで、20および19 1/2リラで二番目の取り決めをおこないましたが、どちらも十人委員会で否決されました。こうして、我々は、取り決めのない状態にあります。その後、良いと思うところにしたがって、我々は、引いたり進んだりしています。これらの〔ヴェネツィアの〕役人がシチリアやプーリアから〔小麦を〕輸入する希望をもっていた時には、我々のいうことに耳を傾けてくれませんでしたので、取引の交渉をする時機だとは思われませんでした。数日前には、ゲスト侯爵閣下の仲介により、60,000スタジオをプーリアから輸入する希望を〔彼らは〕もっていました。現在、一粒だに手に入れることができないという連絡がありましたので、我々は、今こそその取引をする機会だと思っています。私がそれをしようと決めたら、二日以内にもそれは取り決められるでしょう。一部は4月一杯、一部は5月一杯、一部は今度の6月一杯に引き渡すことにして、〔スタジオあたり〕19 1/2から20リラということになりましょう。引き渡さないときには、罰金としてスタジオあたり20ソルドを支払います。この交渉について、彼〔ジローラモ〕にとってこの取引を結ぶ方がいいか、結ばない方がいいか、子細に検討しましたが、(270t) 我々の手はずは完璧であることを知っていますので、結ぶ方が大変有利です。私に関しては、〔一般の人々は〕誰も貴方がたの〔滞在する〕地方から〔輸入する〕とは思っていないので、私は、これら〔の計画〕を実行に移せるものと確信しています。我々は小麦を積み込むためにヴェネツィア船を派遣しましたが、その小麦を、ヴェネツィアに運搬しないで、他所にもっていくことはできません。そのことを考慮した上で、貴方がたの意図もそうだと思いますが、最善の処置をしてください。もしその船が荷降ろしするために他所に行こうものなら、〔その所有者である〕ベルナルディは、ヴェネツィアから追放され、彼の全財産は没収されることになります。ですから、申しあげましたように、当地に小麦を送ってください。ベンでは言い表せない多くの理由により、〔他所で〕それを売るよりは、ここで売の方が彼〔ジローラモ〕にとってははるかに良いのだ、ということをご承知ください。私がとまどい、決心がつかない唯一の理由は、貴方がた〔ご一族〕のフィレンツェのジローラモです。彼は、私がこのシニョリーアと取り決めを結んだという知らせを私から受けた、まさにその時点で、彼自身がフィレンツェで2,000モツジョ〔の小麦〕についての取り

決めをしたのですが、[そのことは] 彼からお聞きになっていることと思います。当地で [私が] おこなった取り決めは、いうまでもなく、彼がフィレンツェでおこなった取り決めの障害となるはずですし、それを困難にします。彼が私にいうには、上記の私の取り決めは聞いていなかったし、それは彼には全く歓迎できない、ということです。貴方がたにとってよかれと思ひ、そちらの [ソマイア家の] 企業集団の利益になるように取り計らっている私に対して、彼は全く自分勝手です。私が [この取引の] 手数料として、貴方がたの利益に反して、[スタジオあたり] 3ソルドも必要以上に多く取ろうとしているとみなし、これが、ジロラーモの怒りをかかったようです。このことが、この取り決めが非常に有利であるのに、私にはそれをおこなう踏ん切りがつかない理由です。もし、ジロラーモがここにおいて、小麦取引の慣例の手続きの詳細を全て検討することができたら、私が [自分のために] その取引をするのではありませぬから、彼自身きつと私の意見に同意し、もっと暖かい態度を取ることでしょう。もし、ジロラーモに関するこの [問題] がなかったら、すぐ明日にでも、まだ謝肉祭ではあっても、整えておいた手はずにしたがって、取り決めに結ぶのですが。神様が、この件でも、ほかの全ての件でも、私に最善の解決をさせていただきますように。もし、ジロラーモが、私がこの取り決める前にこのことを彼に知らせるべきであったと、貴方がたに書き送っているのであれば、これらの役人とはその時点で [取り決めに] 結ぶ必要があるので、[そういう事情でなければ] したはずのことをする時間がなかったのだ、とご承知おきください。しかし、この取り決めは、(271r) 貴方がたにとって底抜けにうまい話であると思ひましたので、申し上げましたように、ほかのことは念頭におかず私にはそれに踏み込んでしまい、彼にそれを知らせる時間はありませんでした。この取り決めに関して、小麦をここに送れば貴方がたに損害があるかどうか、そちらではどのように思っているのか、ということ、私が考慮しなかつたことは遺憾に思ひます。私には、それを販売するためにここに送ることと、シニョリーアに販売 [の契約を] してここに送ることとは、危険は同じであると思ひました。しかし、一言申し添えますと、この事項は本質的なことではないと思ひます。ジロラーモは、私がかばって取り決めるべきではない、と私を抑えていますが、一方、ベルナルディは、この輸入がもたらす利益を承知している私はそれをするべきだ、と私に迫り、答えようのない様々な理由をもちだしては私を苦しめます。[彼は] 昨日このかた、私にしつこく哀願し、明日も私がこの取り決めに結ばない場合には、私 [と共同で事業をすること] を拒絶し、彼だけでこの取引をやる、と私にいいました。

[C・12] 1539・2・12, フィレンツェ, ジロラーモ・ダ・ソマイア

(274r) 小麦の件に関して、……私は、貴方がたが私の書き送ったもの全てを検討なさつたのであれば、一から十まで私に任せようという結論に達したものと、思ひます。……

(274t) 貴方がたは、グッリエルモとジャンバッティスタとの生命、さらに彼らと彼らへの発注者との財産が危険に曝されるといひます。しかし、私の [財産] も同様であることを考慮なさるべきです。彼らは、私名義の7,500から8,000ドゥカートを手にしており、私は、私自身の勘定でも多く [の投資を彼らに委託] していますので、とりわけイタリアではほか

の誰よりも多くの金額を [同じ危険に曝しています]。……私は、そのこと [彼らが危険に曝されること] を少しも喜んではおりませんし、全ては検討済みであることを信じてください。しかし、親愛なるジローラモ殿よ、貴方が信じられないのであれば、私は、酔狂にも根拠のないことをおこなっている、ということになります。また、この事業の半分はベルナルディに属しますが、彼は、ご存知の通り、比肩する者はあまりいないような、この道の熟練者です。……もし、このベルナルディがそこに危険があると察知しているのでしたら、彼は、このような申し分のない詳細な計画は立てない、とお考えください。……我々は、この件には、貴方がたが示したような、生命、財産を失うような危険はないと思っている、ということを感じてください。

最後に [申し添えますが]、もし、この件に関して貴方がたに全てを説明しようとするれば、4枚 [の紙] には収まらないでしょう。……

こうして、私は、こちらからもそちらからも責められていています。ベルナルディは、どうしても私がこの取引をするようにと私を追い詰め、(275r) 哀願し、脅迫し、今日は私 [と共同ですること] を拒否しました。貴方がたはこの取引をしてはならないと手紙でダラダラとおっしゃることしか確かなになさらないので、貴方がたのおかげでこの輸入 [取引] がこうむっている損害を私が認識するやうにと、[ベルナルディは] 明日一杯の [最終回答] 期限を私にくれました。……私は、貴方がたが私に書き送ったこと、およびほかの詳細 [な事情] を全て考慮に入れた上で、明日ないし明後日に、どうしても [私がベルナルディに同意するという回答] を与えようと、決心しました。……もし、貴方がたが、この事業の小麦の件を全てはっきりさせたいとお望みならば、事情に通じている貴方がたの人物を誰か当地に送ったらよろしいでしょう。そうすれば、私は、その人に全てを説明し、一部始終を知らせます。彼は、私のやることが良いか悪いか、私以外の人々から知らされるでしょう。そうすれば、貴方がたは、[その人物をここに派遣するだけの] 僅かの費用で全てをはっきりと理解できます。さらに、貴方 [自身] が3日間で当地にやってくるのを厭わなければ、貴方が [知りたいと] 望んでいること、つまり私が貴方がたに書き送ったのは根拠があるということ、を納得し、ご自身の体験でお知りになるでしょう。……

我々は、25,000スタイオの取り決めをします。[そのうち] 15,000が搬入されることはほぼ確実であることを知っています。[残りの] 10,000を搬入しなければ、スタイオあたり20ソルドの罰金の支払を強制されます。我々は、(275t) 当地にくる上記の10,000スタイオ分の罰金を早く支払い、それをシニョリーアに売らないで、[ほかの者に] 売ろうと思います。[シニョリーアと] 取り引きすること、あるいはしないことに、我々がどのような利点を見いだしているのか、ご覧ください。

[C・13] 1539・2・18, フィレンツェ, ジローラモ・ダ・ソマイア

(277t) 小麦の取引について……私は、このシニョリーアから、それをおこなうやうにと要請されました。そのほかにも、ベルナルディは、どうしても私はそれをすべきだ、と私に詰めよっています。

一方、貴方は、貴方がたの手紙によって、私がシニョリーアの要望にも、ベルナルディの要望にも、さらには私の要望にも沿えなくしてしまいました。私は、ベラからの手紙を待たなければならないからという口実で、話しを引き延ばし、シニョリーアやベルナルディとの相談を続けながら、時間を稼いでできました。ですから、シニョリーアの代理で交渉する人は、私のことを不満に思っていますし、ベルナルディは一層そのようで、彼に対しては[回答期限が]切れました。これからどうなるのか、分かりません。私は、それ[取り決め]を結ぶ決心がつかないのですが、貴方がたが書いてきたことだけがその理由です。現在、以下に述べる理由により、これらの役人たちが、この取引を全く聞き入れない状況となりました。貴方がたは、数日中に、(278r) この輸入[取引]に関して貴方がたがどんなに大きな損害をあたえたか、ご承知になるでしょう。ベルナルディは、そのことで絶望しています。貴方がたに全てのことを承知していただくために[以下お知らせします]。ヴェネツィアのガレー艦隊は、ラグーザ沖で[合計で]約35,000スタイオの積載量をもつ、小麦を摘んだ4隻のラグーザ船を拿捕しましたが、……そのおかげで、このシニョリーアとは、[小麦]取引については何も話せなくなりました。ですから、この熱が冷めてしまうまで何日か待つしかなく、その後で、何ができるか試してみることにします。貴方がたには、何通もの[手紙]で、小麦の取引にはどんなにうまみがあるか、またベラの人々には何の危険もない、と書いてきましたので、もうそのことは繰り返しません。とはいえ、この交渉は、徹頭徹尾貴方がたにとって利益になるものであったということだけ、申し上げておきます。私に任せてください。もし、私が、この輸入を有利に取り計らわなかったら、もはや、私を全く信用してくださなくても結構です。私とベルナルディとは、この熱狂、この[小麦の]充満をやり過ごし、その後で、良いと思われるところにしがたって動きはじめようと思っています。いずれにせよ、この取引はするつもりです。とはいえ、[小麦の取引]価格は、幾分か下がるか知りません。ベルナルディは、ある時点では、貴方がたはこの取引を絶対にするはずだ、と確信していました。もし、小麦をつんだ4隻の船の拿捕のニュースがこんなに早く届かなかったら、ベルナルディは、たとえ先のように私が彼と一緒にこの取引をするのに同意するのではなくても、間違いなく、彼の[勘定においておこなう]半分について契約したことでしょう。我々の見るところでは、先のようにスタイオあたり21リラとはならず、19から20リラとなるでしょう。

[C・14] 1539・2・23, ベラ, グッリエルモ・ダ・ソマイア

(280t) 今月9日付けのが我々の最終便ですが、この[手紙]と一緒にその複写をお送りしますので、お役に立ててください。

小麦については、……上記の複写で申し上げましたように、このシニョリーアは思っていたようにはプーリアの小麦を手に入れられなかったので、私に小麦の取引をするようにと要請してきました。彼らとベルナルディとは、やいのやいのと私を責めました。一日中、[両者は]様々なやり方で私に迫りましたが、特にベルナルディはそうでした。実際、私には、貴方がた[ご一族]のフィレンツェのジロラーモの手紙が重く心にのしかかっていました。

それによれば、彼は、私がこの取引をしたことを大変嘆いており、それには同意しない、全く気に入らないとのことで、さらに多くの別の言葉で、私は絶対にこんな取引をするべきではなかった、といました。そのうえ、私は、貴方がたから、言葉も、[小麦の販売権の]委託もいただきませんでしたので、私には非はありませんが、私は、人々に逆らってみてもうまくいくはずがないと思いました。私は、彼 [ジロラーモ]こそ、最初に私を褒め、評価してくれる人だと思っていましたが、彼は全く反対のことをしました。これが、私とその取り決めをしたというニュースを彼が聞いた時に、彼が私に書いてきたことです。その後は、私は、このような詳細の全てには立ち入らないで、これらの役人たちにせよ、ベルナルディにせよ、いいたいことをいわせておきました。というのは、私の思い通りにその取り決めをする決心がつかなかったからです。もし、ジロラーモが、貴方がた [つまり「我々」のこと]のしたことは最善だと思うといって、私やベルナルディに任せていたら、私は誠心誠意この取り決めを結ぶ努力をし、きっと5日以内にそれに漕ぎつけていたでしょう。しかし、現在、この人々は、彼らの艦隊が小麦を積んだラグーザ人の船を4隻も拿捕したというニュースを聞いたので、取引はしないでしょうし、(281r)取引をしていなくて良かったということでありましょう。ご覧のように、全てはジロラーモのせいです。このように、取引をしていなかったことが、[我々には]反対に裏目にでたわけです。ジロラーモのもたらした損害をご覧ください。今日、私が彼から受け取った最新の手紙には、[彼は]次のように書いてきましたが、これは、この取引は彼にとって利益になると非常に多くの理由を述べて彼に説明した、私 [自身]の書いた長い、詳細な手紙に対するもの [返信]です。すなわち、私が5枚の紙の手紙に可能な限り書いた多くのことを検討した結果、私に全てを任せる、そして私がおこなうことを試してみる、と。しかし、彼のこの手紙は遅すぎました。とはいえ、再度、全てを試してみるのを怠りません。この4隻の船の効果が過ぎ去るのを待ち、その後で、できる限りの最善を尽くすつもりで行動します。決して義務は怠りません。……

(283r) 次のことを申し上げるのを、忘れておりました。ヴォーロスのポーマロから、当地にいる彼の兄弟のところに1月3日付けの手紙があり、貴方がたの勘定による船はまだ1隻も [ヴォーロスに]に現れていない、と書いてきました。ポーマロは、ベルナルディにも私にも書かないでおいて、彼の兄弟には書くということをしています。おかげで、小麦についてのヴォーロスからのニュースは、彼の兄弟の口を通じてリアルト [ヴェネツィアの中心市場]中に広がり、我々は、何の連絡も受けていないと [人々に釈明して] いうはめになりました。このやり方はまことに無礼であり、ベルナルディも私も全く面白くありません。もし、貴方がたが、このことで彼に忠告しておこうとお思いになったら、彼に、私は11月30日付けの [手紙] 以後ジャンパッティスタからもらっていない、と書いてください。

[C・15] 1539・2・24, ヴォーロス, ジャンパッティスタ・ダ・ソマイアおよびピエロ・ポーマロ

(289r) ここでは、シニョリーアと小麦の取引をすることができませんが、その原因の大部分は、この取引をすることをどうしても聞き入れなかった、フィレンツェのジロラーモに

あることは確かです。

(289t) 貴方がたからは、11月30日付けのもの以来、手紙を受け取っていません。貴方がたのピエロ・ポーマロから、彼の兄弟のマルコのところに1月31日〔ママ〕日付けの〔手紙〕がありました。……他人には、貴方がたの手紙でヴォーロスの状況についてのニュースを送るのに、その利害関係者である我々は、何の知らせも受けていません。差し支えなければ、我々にも書いてください。……この〔マルコ〕ポーマロは、リアルトやサン・マルコ〔ヴェネツィアの政治的、社会的中心地〕にいつも顔を出している人物ですから、当地で〔我々の名誉を〕傷つけます。このことは、シニョリーアと取引をする上で、小さくない損害をもたらすことにもなりかねません。……ですから、全てを貴方がたの胸のうちにとどめておいてください。

[C・16] 1539・3・4, ナポリ, ラファエッロ・ダ・ソマイア

(293r) 皆、小麦の価格は、スタイオあたり15 1/2リラになり、奨励金として〔スタイオあたり〕4リラもらえるだろうと思っていました。現在では、彼らは28,000スタイオの小麦を積んだ4隻のラグーザ船を拿捕しました。……〔その小麦の代金を〕ラグーザ人に支払う段階で、古い法律をみつけたしてきました。レヴァンテの小麦は、当地ではグロッソ〔粗大な〕小麦とよばれていますが、これには、スタイオあたり13 1/2リラ以上の価格をつけてはいけない、というものです。

[C・17] 1539・3・10, フィレンツェ, ジロラーモ・ダ・ソマイア

(296r) 私は、ドージェ書簡をその船に送りましたが、その効力により、その船は、監視人から釈放されました。その〔船の〕書記は、その船は完全に自由であり、最初の日和でここにやってくる、と私に書いてきました。この4日間は大変な悪天候でしたので、きませんでした。明日にはくるでしょう。……

上記の船の船長とストロツィ家のレオナルドおよびルベルトとは、彼ら〔レオナルドとルベルト〕が小麦の荷を受け取るようにと、ラファエッロがナポリから書いてきた、と私にいいました。ジャンバッティスタとポーマロが私への手紙に同封して私に送ってきた、積み荷証書は私宛となっていますが、この証書には、貴方がた、ないし貴方がたの代理人に〔小麦を〕引き渡すこととあります。ですから、この船長は、2日後に〔フィレンツェからの定期便によって当地に〕つくはずの、貴方がたの指図をただひたすら待っています。〔我々は皆〕貴方がたの指図するところに、喜んでしたがうつもりです。とはいえ、私の本心はこうです。つまり、もし貴方がたが、上記のストロツィ家の人々が上記の積み荷を受け取るべし、と指図なさるのでしたら、その全てを私の名義で〔シニョリーアと〕交渉させて欲しいのです。というのは、もし〔シニョリーアとの交渉に際して〕名義を変えることになりましたら、奨励金〔の支払い〕に関しておそらく面倒が起ころうでしょうから。つまり、これらの役人は、〔奨励金の支払いに関する書類上の手続きに〕ほんの僅かな手違いでもあれば、奨励金〔の支払い額〕を引き下げるでしょう。ですから、私は、ストロツィ家の人々を私の

名誉ある保護者と見立てて、彼らと折衝したところ、彼らは、私が(296t)シニョリーアに私を[小麦の]名義人として示しているのであるから、名義を変えるよりは全てを私の名義で押し通す方がはるかに良い、と判断しました。私は、[そうすれば]輸入[取引]に有利であり、全員にとって都合がよいので、このシニョリーアと交渉する際にかかなりの負担となるはずの、厄介な[取引の]開始手続きに入る前に、[このように解決できたので]大変満足です。[この取引の]手数料が上記のストロツィ家の人々の手に入ることになっても、私は、友人のお役に立てるのでから満足です。

[C・18] 1539・3・12, ペラ, グリリエルモ・ダ・ソマイア

(297r) このシニョリーアと小麦の取引をすることについては、何の進展もみられません。というのは、ラグーザから4隻の船を拿捕したし、キプロスから20,000スタイオが搬入され、ドイツからも多くがもたらされたので、買う必要が全然なくなったのです。

[C・19] 1539・3・23, フィレンツェ, ジロラーモ・ダ・ソマイア

(310t) 最初、[スタイオあたり]21リラで、次いで、19 1/2から20リラで、シニョリーアと取り決めをしていれば、彼[つまり貴方ジロラーモ]には良かったということが、現在はお分かりでしょう。まことに、ラグーザから拿捕したこの4隻と、キプロスからの到来とによって、この都市の[需要の]半分が満たされてしまったようにみえます。

ASF, Libri di commercio, n. 182

[C・20] 1540・4・15, ナポリ, ラファエッロ・ダ・ソマイア

(7t) プーリアから当地にむけての2,000カッロの小麦の輸出は、その輸送についての指示がとてもまずかったので、6月一杯かかっても、極く僅かしか搬入されないものと思われま
す。

[C・21] 1540・5・15, フィレンツェ, ジロラーモ・ダ・ソマイア

(20r) ベルナルディの船は、来月8日以前には、[当地に]着かないでしょう。……ですから、それらが当地に着かないうちは、どんな指図をすることもできません。

[C・22] 1540・5・30, ローマ, バルダッサレ・オルジャット

(31t) ペラからの[今月]6日および8日付けの手紙によれば、[ヴェネツィアとトルコとの]和約が締結され、署名されたとのこと。……[当地では]小麦は15 1/2から13リラに下がり、まだ下がる気配をみせています。[今年の小麦の]収穫はとても良いようにみえますので、飢饉は考えられないものと思われま

[C・23] 1540・6・5, フィレンツェ, ジロラーモ・ダ・ソマイア

(33r) このベルナルディの船から、私は、次のようなニュースを聞きました。つまり、アントーニオ・ディ・マルティーノを船長とし、ジョヴァンニ・ダ・パンツァーノを書記とする、ジェリーノの船は、ヴォーロスで [小麦の] 積み荷を積んだのですが、私にそれを引き渡すはずのところ、先月20日にコルフ [ヴェネツィア領] から20海里のところまでそれを降ろし、コルフに送ったが、それがそこで売られたものと思う、ということです。この小麦については、ジャンバッティスタが私に何もいってこないで、貴方がたの [企業] 集団のものなのかどうか分かりません。しかし、アンコーナからジェリーノが私に書いてきたところによると、この小船は、[小麦を] 積み込むために貨幣をもってペラから出航しており、ヴェネツィアにきてそれを私に引き渡すこと、ただし途中でそれを売った方が良いと判断した時にはそうしなければならない、と命令されていたということです。もし、そのほかにも聞きましたら、貴方がたにお伝えします。ここに運んでくるよりも、コルフで売って良かったと思います。

[C・24] 1540・6・11, バルレッタ, リドルフォ・ダ・ソマイア

(34t) 全土にわたって平年作よりも良いといわれる収穫のおかげで、[小麦価格は] 8リラになるだろうと予想されていますが、國中全体が [まだ] 不足していますので、この価格は維持されることになりそうです。これが妥当な価格でしょう。……4日前にレヴァンテから我々のところに到着した、おそらく12,000スタイオという大量の小麦をうまく捌くために、[そちらの] 市況を貴方がたの全ての手紙でお知らせくだされば、ありがたく思います。常に貴方がたのご意見をいってくだされば、ありがたく存じます。というのは、ここでは、どの月以内に当地にそれ [小麦] を搬入する場合の、その搬入と、さらには奨励金の受取について、毎日、シニョリーアと折衝がおこなわれているからです。ですから、貴方がたが、そちらにいて、その王国 [スペイン領ナポリ王国] から幾らかを輸出するお気持ちをまだもっていらっしゃるのなら、貴方がたに有利なように、このシニョリーアと何らかの取引をすることを考えてみても、悪くはないでしょう。ですから、これへの返信に、貴方がたの心算をおっしゃってください。……さらに、貴方がたがそれを [そちらで] 購入することができると思われる価格、また貴方がたが希望する [当地での] 販売価格、当地に搬入するのにかかる時間、をお知らせください。ここに [送ることに] なりましたら、それを積むための船をそちらに送ります。貴方がたのお気持ちを、詳細にお知らせください。

[C・25] 1540・7・23, バルレッタ, リドルフォ・ダ・ソマイアおよびジャンコラ・カヴァルカンティ

(55r) [そちらでは] 小麦は、最初、カッロあたり25ドゥカートでも売り手がなく、その後、18 1/2ドゥカートに下落したにもかかわらず買い手がない、ということを知りました。その後、再び上昇したものとおもいます。というのは、実際、イタリア全土のどこでも不作に悩んでいる、と聞いているからです。フィレンツェではスタイオあたり4リラしますし、シエーナでも同じ [?: a la venante の意味不明] です。ロンバルディーアはここ [ヴェネ

ツィアの単位] のスタジオあたり9リラの計算ですし、アンコーナでも同じです。全土で、ロンバルディーアでも、ローマニャやマルケでも、[小麦の] 輸出は[当局によって] 禁止されましたので、ここ4日来、おそらく小麦が不足することになると認識されはじめました。ですから、もしそちらで容易に輸出できるのであり、そちらでカッロあたり18 1/2ドゥカートでしたら、輸出すれば大変な利益となるでしょう。というのは、優良なパドヴァの[小麦] が10リラ、ヴォーロスからの我々の[小麦] が9リラしますので、そちらの[小麦] があれば、現金[取引] で9 1/2リラするでしょうから。我々は、15日以内に価格が上昇するに違いないと思っていますが、それは、上記の理由、および今ここで繰り返す必要のないほかの理由によります。我々は、ヴォーロスからの約5,000 [ママ] スタジオを受け取っていますが、それを今売るよりは、その方が良いでしょう。売らずにとっておくつもりです。ですから、そのような取引については、貴方がたにとって良いように、お決めになってください。……

我々は、貴方がたが、小麦を[ヴェネツィアの] シニョリーアに販売するためにおこなったことについて、詳細に検討しました。……実際、我々は、こうした取引には全く興味がなく、輸出[取引] を考えたり、それを積み込むために船を送ったりするつもりは、全くありません。ですから、去年は、我々はそのようなことをしたのですが、[今年] 我々を全く当てにしないでください。たとえ、非常にご不満であっても、我々は、もう決してこのような苦勞をする気にはなりません。我々は、当地で小麦を受け取る[だけの] 取引を望み、それ以外は望みません。ですから、貴方がたの方で、(55t) 王国[ナポリ王国] の領主たちや副王から輸出のために何カッロか[の小麦] を手に入れることを考えていってください。現在、もうけようとするなら、カッロあたり20ドゥカートまでなら、小麦を買って送りはじめることが確かにできますので、それを輸出できるでしょう。……ここまでを送る経費は全く[計算に] 入れないで、そちらで小麦は20ドゥカートしていますので、大量の輸出[契約] をなさるのであれば、その場合には、この[ヴェネツィアの] シニョリーアに販売することを考えることができます。密輸をお考えでしたら、貴方がたは、きっと優秀であるはずの何隻かのマルセーユ[船] を雇うことができるでしょう。

[C・26] 1540・7・24, ペラ, グッリエルモ・ダ・ソマイア

(56r) イタリアのどの地方においても、収穫は予測されていたようにはうまくいかなかったので、どこでも価格が上がりました。フィレンツェではスタジオあたり4リラ、シエーナでも同じ、ローマではルッリオあたり5 1/2スクード、アンコーナではソマあたり3 1/2スクード。ロンバルディーアでは、ここ[ヴェネツィア] のスタジオあたり9リラの計算、プーリアではカッロあたり19 1/2から20ドゥカート。こうして、8日間このかた、人々は幻想を捨て、不足になるだろうと判断しています。イタリアではどこでも、シチリア、プーリア、マルケ、ローマニャ、ロンバルディーアのどこでも、輸出はできなくなりました。そのうえ、天候は非常に乾燥しているので、私は、まもなくこのシニョリーアは私から12リラ、あるいはそれより幾分か高い価格でそれを購入することに容易になるだろう、という意見に

戻りました。ですから、私は成り行きに注意し、必要と思うところにしがって行動するつもりです。もし、何らかの取り決めをする場合には、はじめに熟考し、それから直ちにあなたがたに〔使いの者を〕お送りするつもりですが、貴方がたを頼りにしています。……ですから、そうになりましたら、輸出をする気になって、必要ならあちこちの積み出し港に有能な人々を派遣してください。

(1990年8月24日 受理)